

# 次世代の若い翼たちへ

公益財団法人平和堂財団は、株式会社平和堂の創業者・故夏原平次郎が、平和堂を今日の企業に育てていただいた地域の方々に感謝し、そのご恩に報いるため私財を寄付し、1989(平成元)年3月に設立されました。滋賀県の教育、文化、体育、環境、児童福祉にかかわる各種助成や事業をおこない、地域社会の発展に寄与することを目的に活動しています。



## 2020年度の主な活動

### 1 教育事業

#### 給付型育英奨学金(返済不要)

- 大学進学者育英奨学生 ⇒ **21名**に支援  
(一人あたり年間60万円)
- 滋賀医科大学育英奨学生 ⇒ **5名**に支援  
(一人あたり年間60万円)
- 高校在学学生育英奨学生 ⇒ **25名**に支援  
(一人あたり年間24万円)

2020年度は、上記の年間給付額に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時育英奨学金として、**大学生30万円**(15万円×2回)、**高校生10万円**(5万円×2回)を給付し各奨学生を支援しました。

#### 第12回いきいきすくすく淡海っ子活動

「いきいきすくすく淡海っ子活動」は、それぞれの地域で定期的、継続的に子どもたちの育成活動をおこなっているグループ、団体に対して、必要な活動資金を助成しています。

2020年度は11団体に助成予定でしたが、コロナ禍において3団体が活動休止となりました。



▲奨学生の集いには大学生1回生と4回生、卒業OBが参加し交流を図っています。(2020年度は未実施)



▲国際交流こども絵画展「ARTで知ろうつながろう! ブラジルと日本」への活動助成

### 2 文化事業

#### 第26回新進芸術家美術展

2019年度平和堂財団芸術奨励賞受賞者4名に、歴代の受賞者41名を含む総勢45名の作品を一堂に会し、10月17日~25日に彦根バシティホール、11月3日~8日に草津クリアホールの2会場で美術展を開催、800名以上の方にご来場いただきました。



▲第26回新進芸術家美術展

### 鳩の音楽会2020

平和堂財団芸術奨励賞受賞者6名による「鳩の音楽会」を2021年1月8日、10日の2日間で開催しました。今年度は当初9月に開催予定でしたが、コロナ禍においていったん中止となり、会場をびわ湖ホール1カ所に集約し、招待人数を減らしてコロナ対策をしっかりと行っただけで無事開催することができました。



▲鳩の音楽会2020 Special version

### 音の扉プロジェクト 学校訪問コンサート

音の扉プロジェクトは、滋賀県内の小学校を対象に、本格的な音楽に接する機会の少ない子どもたちが、本物の音楽や奏者に出会うことで、音楽の素晴らしさ、楽しさを身近なものと感じる機会を作ることを行って実施しています。10月28日に長浜市立湯田小学校、10月29日に長浜市立速水小学校の2校で開催し、約300名の小学生に参加いただきました。



▲音の扉プロジェクト

### 3 環境事業

#### 環境保全活動助成事業 夏原グラント

夏原グラントは、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動を対象とし、市民団体や学生団体などが自主的に行う活動に対して助成を行っています。

2020年度助成団体数 ⇒ **60団体**  
(合計1,488万円助成)



▲明日の走井を考える会2020



▲フィールドソサイエティ2020

#### 子ども環境教育活動への助成

子どもたちの自然環境保全への意識を高める環境体験プログラムによる活動を助成しています。2020年度は親子環境学習プログラムへ約170万円を助成しました。



▲トチノキ観察会2020

### 4 児童福祉事業

#### 滋賀県内の児童養護施設入所児童への支援をしています。

2020年度は、新入学児童(小学1年生)13名へのランドセル等の贈呈、18歳となる青少年6名へ自動車運転免許取得費用の助成、大学・専門学校等進学者6名へ「愛のハト育英奨学金」を給付しました。

愛のハト育英奨学金については年間60万円に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時育英奨学金として、30万円(15万円×2回)を給付し、コロナ禍での奨学生を支援しました。



▲ランドセル贈呈